



ア エ ファ
AEFA 通信

認定NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

<http://blog.canpan.info/aefa/>

福井・東京出前授業ツアーが行われました
～ ベトナムNGO代表カー・バン・トランさんによる出前授業 ～

AEFAでは、ベトナムにおける学校建設のパートナーとしてVNAH/HealthEDというNGOと一緒に活動をしています。そのNGOの代表であるカー・バン・トランさんがこの度来日しました。

トランさんはベトナム戦争時にアメリカ軍の通訳として働き、1975年4月30日、北ベトナム軍がサイゴン(現ホーチミン市)を陥落させたその日の最後の船に飛び乗って祖国を後にしました。その日、お姉さんに預けていた2歳の息子を探してサイゴン中を走り回りましたが、街中が混乱していて結局見つからず、奥さんを伴って泣く泣く船に飛び乗ったそうです。アメリカに渡ったものの、そこから先は特にアメリカ政府の支援もなく、住む家も無く、閉店後のショッピングモールで寝泊りする日々が続きました。1時間2ドルの清掃の仕事などを見つけて、ベトナムに置いてきてしまった息子のことを忘れようと一生懸命働き続けました。そして、その真面目な働きぶりがレストランオーナーの目にとまり、ついには5軒ものレストランを持つ経営者となり、アメリカで富と成功を手に入れます。

しかし、1989年、故郷の父親の危篤の知らせをうけて14年ぶりにベトナムに一時帰国した際、変わり果てた郷里の姿に唖然とします。バスを降った途端に何かにつまずいたトランさん。その目線の先には、地雷や枯葉剤の影響で手足を失った人がうずくまっていた…。故郷の人々がベトナム戦争で受けた傷の深さを感じ、貧困に苦しんでいる生活を目にし、いてもたってもいられなくなってしまいます。アメリカに戻ったトランさんは「援助が必要な人々がここにいる。」と一念発起し、VNAHを設立。義肢・補助装具の支援と学校建設の二本柱で活動を行っています。

トランさんはこの21年間の活動の中で

車椅子 30,000台
義肢補助装具 90,000個
学校建設 120校

を支援しています。ベトナムでは、25万人もの人々が手や足を失っているそうです。そして戦争終結から36年の月日が流れた今でも、未だ多くの人々が地雷や枯葉剤の影響で苦しんでいます。10人に1人が障害をもつといわれるベトナム。まだまだ、支援を必要としている人がたくさんいます。



また、ラオスや中国と国境を接する、少数民族の人々が住む山岳地域では、今でも学校が満足にない状況です。たとえ学校があったとしても雨漏りがしたり、壁が崩れたまま風が吹き込んでいたり、トイレがない学校も数多くあります。子どもたちの学習環境は決して良いとは言えません。毎日4、5キロの長い道のりを歩いて通っている子供たちも少なくありません。着る物や食べるものも満足にない状況ですが、子どもたちは一生懸命勉強をしたいと願っています。

「支援を必要としている人がまだまだたくさんいる」

そう語っていたトランさん。トランさんは今日もベトナムの子どもや障害者のために走り回っています。そんなトランさんと一緒に、私達AEFAスタッフは福井と東京の学校を訪問してきました。トランさんの初めての出前授業はどうだったのでしょうか？ そして、日本の子どもたちの反応は…？

< 次頁につづく >



◆ トランさん略歴 ◆

- 1952年ベトナム クアンナム省生まれ
- 1960年ベトナム戦争開戦
- 1975年ベトナム戦争終結、渡米
- 1989年ベトナムに一時帰国
- 1991年VNAH設立、以後代表として活動



車椅子のお陰で自由に外出できます



出前授業ツアー 報告

7月11-13日福井県で、14-15日は東京都内の学校で授業を行いました。元平章小学校校長の松本盛博先生にご協力を頂き、福井の交流校の皆さまにあたたかく迎えて頂きました。せっかくの機会なので、子どもたちにトランさんのことを知ってもらい、ベトナムに関する理解を深めてもらいたいと、授業を2部構成にしました。

第一部：AEFAスタッフによるトランさんの紹介

前頁で紹介したようなトランさんの人生をAEFAスタッフから紹介し、子どもたちに質問を投げかけます。

「トランさんはどんな気持ちでこの活動を始めたのか？」 「義足や義肢を作ったのはどんな気持ちからだろう？」

「トランさんの作った学校で勉強している子供たちに、どんな大人になってほしいと思っているでしょう？」

子どもたちはトランさんになったつもりで、一生懸命考えていました。そこで第二部、トランさんの登場です。

第二部：トランさんと子どもたちとの質疑応答

まさか本物のトランさんが自分たちの学校に来ているとは思ってもみなかった子どもたち！トランさんに聞きたいことが盛りだくさんです！いろいろな質問をしてくれました。

◆7/11 福井県 勝山市立成器西小学校(4-6年生対象)◆

戦争のことも理解しているようで真剣に話を聞いてくれていました。「仕事をしていて一番嬉しいことは何ですか？」と尋ねた女の子に対してトランさん「貧しい子どもや障害を持った人々を助けながら、彼らから沢山の幸せを貰っています。そして日本とベトナムとの交流をとおして、今日この学校に来て皆さんに会うことができました。このことも仕事をしていてとても嬉しいことです！」



◆7/13 福井県鯖江市立河和田小学校(5年生対象)◆

ベトナム・フトゥーA小学校から寄せられたお見舞いの手紙や壁新聞などを紹介。東日本大震災に寄せてベトナムの子どもたちが描いてくれた絵や募金の話などを、真剣にメモを取りながら聞いてくれました。



◆7/13 福井県勝山市立村岡小学校(3-6年生対象)◆

ベトナム・ポコ小学校に村岡小学校の交流作品を届けたときの様子や、ワンコイン・スクールプロジェクトで完成したラオス・ポンタン小学校を紹介。3年生はベトナムについては初めての授業でしたが、真剣に聞いてくれていました。最後に、昨年子どもたちが廃油せつけんや苗を売ったお金を、今年もワンコイン・スクールプロジェクトへの寄付として受け取りました。



◆7/11 福井県 大野市立乾側小学校(全校児童対象)◆

ラオスのサボン小学校と交流をしている乾側小学校。ラオスの子どもの遊びなども交えてラオスへの理解を深めました。トランさんにはベトナムの食べ物や暮らしのことなどたくさん質問していました！



◆7/12 福井県坂井市立三国北小学校(全校児童対象)

難しい内容にもかかわらず、低学年の児童も真剣に聞いてくれました。「これからずっとこの仕事をしますか？」と聞かれたトランさん。「はい。アメリカでレストランをしていた頃に比べると今は人を助けることができている。誰かのために働けるのはとても幸せなことだと思います。」最後にベトナムの学校への素敵な作品を受け取りました。



◆7/14 東京都港区立高輪台小学校(3年生対象)◆

ベトナム・チューオレン小学校や子ども達の生活を学校の教科書や雑貨を使いながら説明。「どうしてそんなに一生懸命働いたの？」とトランさんに質問すると…「新しい義足や学校を届けたら、みんなとっても嬉しそうな笑顔になります。もともと働いて、みんなのために役立ちたいと思いました。でも、これは私だけじゃなく、きっと皆さんも、そういう立場になったら同じように思うだろうし、働けると思いますよ」



もの静かに語るトランさんを、真剣に見つめる子どもたち。何かを感じとっているようでした。

◆7/12 福井県坂井市立丸岡中学校(3年生対象)◆

AEFA理事長の母校。「大変なことは沢山あったけど、自分はベトナムの人を助けたいと思った。皆さんもラオスのために募金活動をしたと聞き、嬉しく思っています。国は関係なく、自分の身近な人を助けるだけで、とても気持ちが満たされるはずですよ」とトランさん。中学生なのでトランさんの状況を十分に理解し受け止めているようでした。



◆7/12 福井県坂井市立平章小学校◆

6年生と一緒に給食を頂きながら、トランさんにベトナムの話をお聞きしました。



◆7/15 東京都町田市立小山田小学校(5年生対象)◆

タイの学校との交流や、トランさんのことを紹介しました。とても積極的な子どもたち。「ベトナムの小学校と小山田小学校の違いは？」 「ベトナムと日本の共通点は？」などたくさんの質問の手があがりました！トランさんから子どもたちへ質問したりと双方向の授業になりました。トランさんが話す英単語が時々わかる子どもたち。最後も照れながらトランさんに「Thank you!」と直接お礼の言葉を伝えていました。



みなさん素敵な出会いをありがとうございました！

◆ タイ アイエ小学校 ◆
贈呈式が行われました

5月26日タイ アイエ村小学校の贈呈式が行われました。この学校は夢の貯金箱様を通じてイトアンド株式会社様のご支援を頂いております。4月以降、例年よりも早い雨季の到来により激しい雨の影響で地盤が緩み、村に資材を運ぶことができな



子どもたちも大喜び！

い状態が続き工期が遅れてしまいましたが、この日を待ちわびていた村人達が総出でお出迎えてくれました。日々の会話の中で「学校の完成はまだか？」と毎日話題にあがるほど、皆が完成を心待ちにしていたそうです。当日は多くの人が集い賑やかな式典となりました。



アカ族の伝統的な踊り

「村を訪れてた際に驚いたことが幼稚園に入る前の小さな子どもや、村から出ない高齢女性は、アカ族の言語しか話すことができないという状況でした。学校が完成し、教育制度が安定すれば、タイ語や英語の教育を受けることができるようになります。部族の伝統を守りながら、教育をうけ、親子共に村での生活を守ることができ、村人全員が幸せな生活を送ることができるように考えると非常に嬉しく思います。今後もアイエ村とのつながりを大切に、互いに発展し続けていけたらと思います。
(イトアンド株式会社様報告書より抜粋)」



建設中の校舎をバックに



先月建設が完了した新校舎

あたたかいご支援を、ありがとうございました。

ラオス手織布の手作り作品展
無事に終了いたしました！

お陰様で、大盛況で開催することができました。足を運んで下さった皆さま、有難うございました。会場のイタリアンレストラン「コメ・スタ」様からのご寄附もあわせ、合計236,400円！このご支援は、ラオスの子ども達の教育を支える基金に使わせて頂きます。作品をお買い上げくださったみなさん、ちくぬいボランティアのみなさん、会場をご提供下さいましたコメ・スタさん、ありがとうございました。



ラオスへのご支援・有難うございます！

★老朽化した校舎が新しく生まれ変わります★

ラオス マクナオ中学校。

2010-2011年度の生徒中は196人。先生は11人です。40年以上前の建物で老朽化がすすみ、机や椅子も足りていません。設備敵に不十分な環境ながらも、きちんとした学校運営がなされ、真摯に学ぶ生徒達が在る学校です。この新校舎の建設に、棚橋賢治様のご支援が決まりました。村人たちと一緒に教育の場を整え、そのプロジェクトが村全体の発展につながるよう、共に歩んでいきたいと思ひます。



★創立10周年記念でご支援が決まりました★

2007年に建設したラオス ノントゥム小学校の井戸や、教科書、教材、掃除用具、家庭菜園に必要なじょうろ、そして先生の給与のご支援をしてくださってきた株式会社ブロードウェイ様。今年創立10周年を迎える同社が、村が発展し、生徒数が増加して教室不足になったノントゥム小学校に校舎を増築して下さることが決定しました。2011年7月、新校舎建設工事が始まっています。



★より充実した教育環境を、ラオスの子どもに・・・★

2009年度ラオス ナトゥム小学校へ御支援を頂いた津北ロータリークラブ様。建設だけでなく、継続してフォローアップを・・・という深いご理解とお心により、ソフトを充実させるためのご支援を頂戴しました。井戸の水質調査、浄水器（カートリッジ）、文房具や教材、サッカーボールなどたくさんのご支援を頂きました。子どもたちの教育環境と衛生環境がより整備され充実しました。



★地域の基幹校の建設支援★

ラオス ビエンカム小学校は、

1-5年生がそろそろ完全校。同村だけでなく、近隣村からも4-5年生が通っています。現在の児童数は106人。校舎は1966年に作られた古いもので、3つの建物を少しずつ直しながら使っています。教育設備が不十分であることや、教員も3名しかいなく複式学級であること等から、高学年になるにつれ児童数が減ってしまう問題があります。村人が新しい広い土地を用意。ここに、神崎敏彦様が5教室の新校舎をご支援下さる事が決定しました。



皆様あたたかいご支援、ありがとうございます！